【令和８年度　全国学力・学習状況調査の結果】

中学校３年生を対象とした「全国学力・学習状況調査」の札幌市の概要が新聞等で発表になっています。本校での各教科の概要と課題、改善の方向と学習等の結果を以下に提示いたします。ご家庭での指導等にご活用ください。

なお、本調査で測定できるのは、学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることも同時にお伝えいたします。

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の内容】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ➡全国平均よりほぼ同程度であるがやや上回っている。 □「話すこと・聞くこと」 ➡全国平均より下回っている。 □「書くこと」 ➡全国平均よりほぼ同程度であるがやや上回っている。 □「読むこと」 ➡全国平均より上回っている。	●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。 ●互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめること。 ●段落相互の関係を明確にし、文章の展開を工夫すること。 ●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	○同音異義語など意味の違いに注意しながら、漢字を正しく書き分ける。 ○話し合いの展開を理解できるようにする。 ○自分の考えを相手に伝わるようにまとめる。 ○段落の役割を理解する。 ○段落の役割を踏まえた段落構成を考え、文章展開を工夫する。 ○文章に対する自分の考えをもち、それを相手に伝えたり文章にしたりするなど、言語化する。

※本校の概要の見方

□国語・数学について、それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較しています。

＋３．１ポイント以上	→「上回っている」
＋３．０ポイントの範囲内で全国平均以上	→「ほぼ同程度であるがやや上回っている」
全国平均と同じ	→「ほぼ同程度」
－３．０ポイントの範囲内で全国平均以下	→「ほぼ同程度であるがやや下回っている」
－３．１ポイント以下	→「下回っている」

【数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の領域】 □「数と式」 ➡全国平均より、下回っている。 □「図形」 ➡全国平均より、ほぼ同程度であるがやや下回っている。 □「関数」 ➡全国平均より、下回っている。 □「データの活用」 ➡全国平均より、ほぼ同程度であるがやや上回っている。	●「数と式」 ・具体的な場面において、正の数と負の数を活用する。 ・同類項の意味を理解する。 ・文字を使って説明する。 ●「図形」 ・具体的な事象を基に、証明する事柄の仮定を見いだす。 ●「関数」 ・関数の特徴を捉える。 ・与えられた表やグラフを基にして、必要な情報を適切に読み取る。 ●「データの活用」 ・データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明できる。	○「数と式」 ・説明するための知識を定着し、理論立てて説明することができる。 ・同類項の意味を理解し、計算に生かす。 ○「図形」 ・証明するための仮定や結論をはっきりさせる。 ○「関数」 ・式、表、グラフの関係性を理解し、適切に扱えるようにする。 ○「データの活用」 ・度数分布多角形や累積度数などの意味を理解し、適切に活用することができる。

※本校の概要の見方

□国語・数学について、それぞれ領域ごとの本校の平均正答率と全国平均との差を用いて比較しています。

＋３．１ポイント以上	→「上回っている」
＋３．０ポイントの範囲内で全国平均以上	→「ほぼ同程度であるがやや上回っている」
全国平均と同じ	→「ほぼ同程度」
－３．０ポイントの範囲内で全国平均以下	→「ほぼ同程度であるがやや下回っている」
－３．１ポイント以下	→「下回っている」

【英語】

今回の調査における課題	改善の方向
【学習指導要領の領域】 「聞くこと」 ●日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を聞き取ることができる。 ●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えることができる。	○自分の置かれた状況を把握し、何を聞き取ればよいかを理解した上で、関連する語句や表現に着目し、必要な情報を聞き取る言語活動を充実させていく。
「読むこと」 ●日常的な話題について、目的に応じて、必要な情報を読み取ることができる。 ●社会的な話題について、短い文章を読み、要点を捉え、考えとその理由を書くことができる。	○読む英文の題材に応じて、各段落の主な内容を捉えたり、時間の流れに沿ったあらすじを概要として捉えたりする言語活動を充実させていく。
「話すこと[やり取り]」 ●音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	○基本的な表現を用いて、「関心のある事柄」について即興で情報を交換したり，お互いの考えや気持ちなどを伝え合ったりするような言語活動を充実させていく。
「話すこと[発表]」 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる。	○「関心のある事柄」について、既習の語句や文を用いて即興で話すことができる力を身に付けることができるような言語活動を充実させていく。
「書くこと」 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。 ●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。	○伝えたい内容を読み手に正しく伝えるために、語句や文法事項等を理解して文章を書く指導を行う。また、読み手に伝わるように意識しながら、自分の言いたいことに最もふさわしい表現形式を工夫して書く言語活動を充実させていく。

生活や学習に関する調査について（生徒質問紙調査における全国平均との比較）

※すべての質問において、全国平均と比較して、本校生徒が肯定的（当てはまる、どちらかといえば当てはまる）な回答をした割合が、高いものと低いものについてお伝えいたします。

（本校生徒数の割合/道（公立）生徒数の割合/全国（公立）の生徒数の割合）［単位：%］

【△肯定的な回答の割合が全国平均と比較して高い項目】

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等△自分には、よいところがあると思いますか（91.8/84.4/84.0） △いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか（98.0/95.7/95.1） △人の役に立つ人間になりたいと思いますか（96.9/95.6/95.9） △友達関係に満足していますか（91.7/91.0/91.2） △普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか（93.8/90.2/91.0）

ICT を活用した学習状況△1，2年生の時に受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度しようしましたか（95.9/94.4/92.9） △あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか（94.9/87.2/84.8） △あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか（95.9/91.6/90.9） △あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか（91.7/84.4/80.0）

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況△学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか（92.8/88.0/87.0） △先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか（90.7/85.3/85.2） △授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか（95.8/92.8/92.4）

総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科 道徳△総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか（90.8/86.1/81.7） △道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか（96.9/92.9/91.3）

【▽肯定的な回答の割合が全国平均と比較して低い項目】

基本的生活習慣等▽朝食を毎日食べていますか（89.7/88.9/90.9）

挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感、幸福感等▽将来の夢や目標を持っていますか（67.0/67.2/67.6） ▽人が困っているときは、進んで助けていますか（89.7/90.3/90.8）

学習習慣、学習環境等▽土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（47.4/47.2/52.5）

【生徒質問紙調査の結果から】

家庭学習について、平日の学習時間は全国平均より高い傾向にあり、昨年度の生徒との比較も肯定的な回答が高くなっています。

「自分には、よいところがあると思いますか」が昨年度よりも 5.5 ポイント上がっております。学校として「自己肯定感を育む環境づくり」に努めながら、個々の悩みや探求に深く寄り添うキャリア支援をしてまいります。

「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と肯定的な回答が全国平均より高い傾向が見られます。今後も、教職員と生徒との間における最適なコミュニケーションを重視し、相互の信頼関係の構築に努めるとともに、生徒が安心して学校生活を送ることができる環境づくりに取り組んでまいります。「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか」について、全国的な上昇傾向（79.0%）を大きく上回る 85.5%に達し、学びを自らコントロールする力が着実に向上しています。

これらの結果を踏まえ、「自律した自分づくりを目指す生徒」を育む場となるよう、児童生徒一人ひとりに応じた個別最適な学び及び協働的な学びの一体的な充実を図っていきます。